

泊村へ向かう橋本さん。毎年、東海村から六ヶ所へ
自転車を走らせている。



辛い坂道。強風でドラム缶の蓋がとんだ。
パンクも2度発生。トラブルは想定済みだが



徳島から参加した女性
自転車は初めての体験と言いつつ走りきった。



泊村での会見。泊村の住民は地盤が固いので
地震の揺れをあまり感じていないと発言



泊町長室からの眺望。
泊原発と巡視船が見える。民家との距離は数キロか



泊から積丹への海岸線。半島の隆起が地震による
ものとの見解が北電との争点になっている。



積丹町役場。人口減が激しく第二の夕張町といわれている 再稼働は反対と明言。



地図により説明して下さった松井秀紀町長
同心円での距離による避難計画は立てられない。



古平町役場



古平町会見



自転車隊と行動を共にしたマルコ(メス12歳)
犬の神様を祭る岩の前で記念撮影

